

Special!

シムピープル

西尾ゆき Yuki Nisio

人生シミュレーションともいうべき箱庭ゲームの登場だ。シムピープルたちに素晴らしい人生を送らせるのも、ピザを食べて寝るだけの怠惰な生活を送らせるのもあなた次第だ。

現実世界そっくりの小さな箱庭世界があって、その中に現実世界そっくりに行動する小さな人々がいるゲームと聞くと、どんなものを想像するだろうか？ リトルコンピュータピープル？

これまでもそういったキャラクター観察ゲーム的なものは数多くあったが、シムピープルは既存のものとは一味違うゲームだ。

プレイヤーの操作によって、ゲームの中のシムピープルたち(以下シム)は食事をしたり、パーティを開いたり、喧嘩したり、愛し合ったりする。そしてそのドールハウスのような家では、時間の経過によって、食べ物までもが腐ったりするリアルさだ。そして一番驚くのは、シムたちが欲求に従って、自分の意思を持って(?)行動するという。シムピープルは、キャラクターたちの日々の生活までダイレクトに干渉してしまえる、人生シミュレーション&他人の生活覗き見ゲームなのである。

なにせ、そのリアルさ、細部へのこだわりは笑ってしまうほど。例えば、女性がトイレを使うときは腰を下ろすし、男性が使用する場合は便座を上げるといった具合で、ありとあらゆる部分に俗っぽいエッセンスがちりばめられている。その一風変わったユーモアがゲーム全体を人間くさいものにしている。

かつてない体験と刺激

こう書くと、ほとんどリカちゃんハウスがおままごとのノリに思えるかもしれないが、ゲームとしての基本要素を外していないのがうれしい。ゲーム中では、データに支配されて計算で決まる部分とランダムに決定される部分が渾然一体となっており、かっちりとしたプレイでも情緒的なプレイでも受け入れてしまう幅の広さを持っている。

ただし、自分の愛するシムたちに完璧な人生を送らせようとする、片時も目が離せない気

分になってしまうので、シムシティのように、「箱庭観察」というほどには手抜きができないのが難点。もちろんシムたちは自分でどんどん行動してくれるが、それがベストなものとは限らないし、放っておけばだらしない生活をしてしまう。

常に長くゲームに集中させられるのを苦痛に感じる人にはあまりお勧めできないかもしれないが、時を忘れて夢中にさせてくれる面白さを持っているので、こういったちょこちょこ動き回る画面を見ているだけでも幸せな人ならは問題なし。

とにかく、この完成された箱庭世界の中毒性が高いのは確か。既存の「シムシリーズ」とも一味違う、なにかヤバいものを持っている。ここ最近目立たなかった天才ウィル・ライト



ゲーム画面全体図。同じ家族でも、それぞれが好きなのように行動しているのがよく分かる



複数のシムが同じ場所に生活していると、一緒に食事をしたり、テレビを見たりという、ある意味、複雑な行動もとる

■価格：8800円(3月16日発売)

■問い合わせ先：エレクトロニック・アーツ・スクウェア ☎03-5436-6499

<http://www.japan.ea.com/>

■動作環境：Windows 95/98, MMX Pentium/233MHz以上、メモリ32MB以上、空きHDD容量300MB以上、要DirectX 7

© 2000 Electronic Arts. All rights reserved.

(シムシティのデザイナー)の面目躍如。シムたちと一緒に一喜一憂しながら、せっせとお金を稼ぎ、食事をし、友人と交流を深めて、どっぷりとこの世界に入り込んでほしい。

こんなあなたにオススメ!

- ・賃貸雑誌などの部屋の間取り図を見ていると時を忘れてしまう
- ・家具のセンスや統一感にはこだわるほうだ
- ・ドールハウスを見ていると、興奮してしまう
- ・お金があったら家を快適にすることに消費したい
- ・「箱庭」と聞くと振り返ってしまう
- ・とにかくミニチュア好き

※まんま筆者には全部当てはまったりする



自分の好みで家を建てるのもOK。壁と床にべたべたと好きな色を塗っていく感覚で簡単に作れる



睡眠中に夢を見るシム。細かいところにもこだわりのゲームデザイン



夜中に電話がなったので飛び起きてみたら、いたずら電話



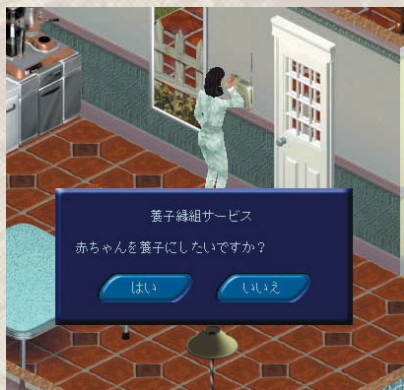
隣人と語り合うことで社交度や相手の友情度が高まっていく



ラブラブモード発動！ 他人の奥さんだろうと同性だろうとおかしいなしに発動してしまう



シムたちに何か要求があるときは、頭の上に吹き出し型のアイコンで表示される

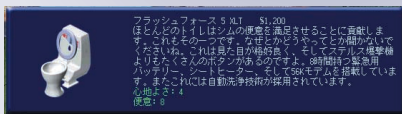


カップルには養子縁組の話も。家族の増加は金銭面にも影響を及ぼす

アイテムがいい感じ

可愛くリアルに描き込まれたアイテムの数々もまた、ミニチュア魂を揺さぶってくれる。壁紙から床、絨毯、ガーデニング関連、すべてにセンスのよいアイテムが用意されているのだ。箱庭マニアは「こ、この部屋はアーリーアメリカンでまとめて、こっちはビクトリア朝にしちゃおっかな。暖炉だ暖炉だ。うおーこのサイドテーブルがラブリー」などと興奮状態(というか錯乱気味)になって家の模様替えができてしまう。各アイテムに質感のあふれた色彩がなされているのもうれしい。

アイテム数自体はそれほど多くないが(例えばベッドはシングル2種類、ダブル3種類)ほんの少し残念なところだが、どれもセンスのいいグラフィックなうえ、それぞれにきちんと性能が違うので、ゲームとしてはちょうどいい品数だ。



これは56Kモデム搭載トイレ。いったい誰が何の目的で買うのだろう……

突発的な事件

毎日の生活に追われているとゲームが単調になりがちなのだが、それを救ってくれるのが数々の突発的な事件。火事が、いたずら電話が、賞金当選が、三角関係がシムたちを襲う。それぞれに対処方法がちゃんとあるので、とんでもない羽目に陥ることはまれだが、それでも普段の生活サイクルを崩していくやっかいなイベントだ。シムシティでいうところの災害といった感じ。でも事件に巻き込まれるがままになって、「壊れていく私」を味わえるのもシムピープルのいいところだ。

火事だ！ 火事だ！ 料理のスキルが低いとこんなことも。自分で消火しようとしたら炎に巻かれてしまって……



キャラクター同士に愛憎関係が生まれる

愛憎なんていうと大げさなのだが、キャラクター同士の接触が増えることによって互いの友情度が高まっていき、相性が良ければカップルになる。あまり相性が良くなかったり、相手の気に食わないことばかりしていると友情度はマイナスになっていき、仲が悪くなる。

とまあ、ここまではそれほど驚くことではないのだが、シムピープルがすごいのは、これが実際にキャラクターの行動にどんどん反映されること。

例えばA子とB男というアツアツなカップルがいたとして、そこにCという別の男性がやってきてA子にちゃつくと、なんとB男が激怒してCに殴りかかってしまうのだ。つまり、自分のパートナーにちょっかいを出されて、Cに対する友情度が大幅マイナスになってしまったというわけ。もちろんプレイヤーが途中でストップをかけたり、仲良くするような方向に行動させることはできるのだが、キャラクターが自分で考えて行動するさまにはドキドキさせられる。



一軒家の中でダブル不倫なんてことも。お、大人の世界だ……

果てしなく機能追加されそうな予感

だいたい今までのゲームだと「～な人にお勧め」とかいう表記になってしまいがちだが、このシムピープルは違う。老若男女を問わず、ともかく一度プレイしてみたい。

そんな素晴らしい「パターンのないゲーム」であるシムピープルも、いつかはキャラクターや家具が見慣れたものになって飽きてしまいがち。

そんなときは、

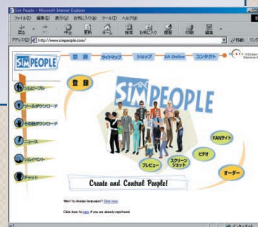
「<http://www.simpeople.com/>」

をぜひ！ オブジェクトの追加、顔グラフィックスを作るツール、家の壁紙/床などのパターンの追加など、シムワールドを広げるための仕掛けがてんこ盛り。ゲームを買ったらずばここをブックマークだ。

定期的に情報がアップされるようで、非常に楽しみ



最終的には骨壺に。なんとブラック



実際のゲーム進行

ここでは、遊んでみないと分かりづらいシムピープルのゲーム進行を、順を追って紹介しよう。ただし、基本的には何をするのも自由なゲームなので、これはほんの一例にすぎない。ケアばっちりの幸福な人生も、気分最悪なかわいそうな人生も思いのままだ。ここで紹介するのはケアばっちり型のオールドックスなものである。

A 家族を作る

まずは、自分が操作するキャラクターを作る。初めから用意されている家族をプレイしてもいいのだが、自分の好きなようにキャラクターを作るのもなかなか楽しくてお勧め。肌の色、大人/子供、性別、洋服、髪型などを選んだら、プロフィールを書き込む。星座は、相性の悪い相手やよい相手があるので、カップルで入居する場合は、相性のいい星座同士で組ませたい。

また、きれい好き、社交的といったパラメータはその後の生活に大きく影響を与えるため、慎重に設定したい。例えば活動的というパラメータが低いと、朝ベッドから起きるのに30分もかかるということになってしまう。



見た目はなかなか重要。感情移入できるキャラクターを作るもよし、とんちきな格好のキャラクターを作ってもんでもない人生を送らせるもよし

B 引っ越す

全体マップから好きな家を選んで入居。安い家ならばそれだけ家具や設備にお金をかけられるが、家族の人数に合わせた大きさのものを選ばなければならない。さら地を購入して理想の家を建てるのも一つの方法だが、初期資金はそれほど多くないので、設備がある程度整っている既製の家を買ったほうが効率がいいだろう。

また、操作する家族を全体マップで切り替えることもできるので、ほかの家族を操作して、自分が作ったキャラクターと友達になるということもできる。



これが全体マップ。郊外のとあるエリアといった風情で、箱庭の香りぶんぶん

C シムに指示を出す

シムたちは、自分たちの生活要求に従って勝手に行動することができるのだが、プレイヤーがきちんと指示してやらないと徐々にだらしのない生活を送るようになる。

それを防ぐためにも、シムたちへの細かな指示はプレイヤーの大事な仕事。そのときどきのパラメータを見ながら、食事をとらせたり、あちらの部屋に移動させたりとアクションを指定してやる。

指定は簡単で、操作したいキャラクターを右クリックで選択したあと、使いたい家具やアイテムをクリックすると、それを使った場合のアクションがいくつか表示される。また、プレイヤーの指示も含めて、これからシムがしようとしていることは、左上にアイコンの形で指定した順番どりに一覧表示される。



左上がこれからシムがしようとしているアクション。すべてグラフィックで表現されていて分かりやすい



これがアクションの指示画面。させたい行動にカーソルを合わせてクリックするだけ

D 家具を買う

さて、家が決まって中に入ったら、さっそく身の回りのものを購入。既製の家具付きの家を買った場合は、寝具やトイレ、バス、調理器具、電話など必要最低限のものが揃っている。

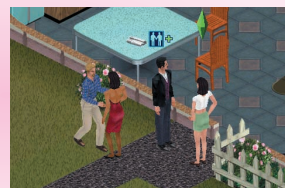
家具アイテムにはそれぞれ、シムたちの快適度を高めるとか、楽しさを増すといった効果があるので、財布と相談しながらテレビやエスプレッソマシンといったものを購入していこう。



こ、このグラフィックがたまらんす。家具だ家具だ、わーい！

E 隣人の挨拶

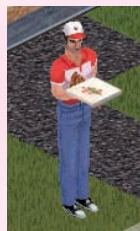
引っ越しが済むと、電話が鳴ったり、直接玄関にきたりして、隣人たちが挨拶をしにくる。友達になりたいシムを家に呼ぶには電話をかける必要があるのだが、それには事前に知り合いになっていなければならないので、新しいご近所に会おうというんな人がやってくるこのチャンスは大切だ。



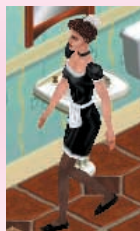
ご近所さんがご挨拶に。この中からさまざまな出会いが生まれるのだ

各種サービスを利用する

シムピープルの世界では、電話一本で頼めるサービスがいくつか用意されている。どれもそれなりにお金がかかるのだが、現実世界と同様にお金で時間が買えると思えば安いもの。お金で解決できることは多い！



ピザ宅配：食事の支度にはかなり時間がかかってしまうので、共稼ぎの家庭を作ったならば、効率よく利用していきたい



メイド：なぜミニスカ!? なぜメイド服!? (しかも18禁気味) 怪しい雰囲気。メイドのお姉さんが、家の掃除をしにきてくれる。時間給で支払うためのんびり働かれてはちょっと困るのだが、男性にはそのメイド服ですべてが許されるらしい



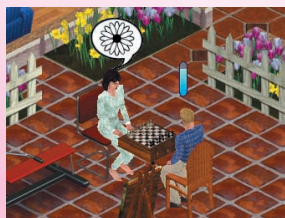
消防士：台所で火事になったらすぐさま消防士にコール！ 24時間いつでもかけつけてくれる。下手に自分で消そうとすると、さらに火が燃え広がって大惨事になってしまうので、大急ぎで電話するのが一番だ

F 近所付き合い

生活が落ち着いてきたら、近所付き合いも始めよう。引っ越してきたときに挨拶をした人々を電話で呼んでもてなすのだ。

相手が玄関にきたら、まずは挨拶。挨拶が済んだ相手は、こちらが特別に電話などしなくともどんどん家に入ってくる。こうしたお客に、事前に料理を用意しておく、皆、食べ物をばくつきながらおしゃべりをしたり、一緒にテレビを見て語り合ったりし始める。

時間が遅くなると客は自分たちで帰るのだが、自分の操作するシムの体力が落ちてきていたり、ほかにしたいことがある場合は、客のシムに帰ってほしい旨をはっきり伝える。このあたり、いかにもアメリカなゲームだ。ホウキを逆さに立てかけても決して客は帰らない(あ、分からないかな?)。

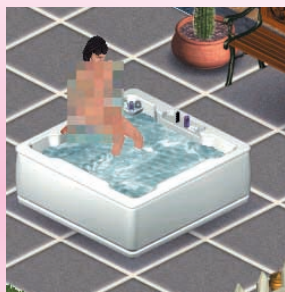


友達と一緒にチェスをしながら語り合うこともできる

G 日々の生活

シムの生活は、現実の人間の生活のように進んでいく。朝起きたら食事をし、トイレを済ませたらシャワーを浴び、食事をし出勤する。なぜ、こういうサイクルになるかというと、シムたちに設定された各種パラメータを常にいい状態に保とうとすると、まじめで規律正しい、ときにはお楽しみのある生活が求められるのだ。

例えば、体力(ヒットポイント)が下がりきってしまうとその場に倒れてしまうので、適宜睡眠が必要だし、食事のたびに便意も増えていくので、トイレもこまめに使用しなくてはならない。これらのパラメータがレッドゾーンにあると、シムの気分パラメータもどんどん下がってしまい、行動に支障をきたしてしまうのである。



いやーん。トイレやお風呂などのシーンではキャラクターにモザイクがかかります

H 就職する

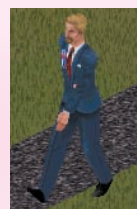
毎回の食事にささお金がかかるシムビールの世界。シムたちの生活を豊かにするアイテムを買うためには、たくさんのお金が必要だ。そのため、家族のうち最低1人は就職しないと生活していけない。就職情報は毎日配達される新聞を見るか、PCのネットサーフィンで手に入れる。新聞での就職情報は1日1件しかないのが、なかなか好みの仕事を見つけられないのだが、PCで探すとは何件でも検索できるので、こちらのほうが便利。

就職すると毎日決まった時間に送迎車がくるので、それに乗り込んでマップ外に通勤。就業中はそのキャラクターを操作することはできないので、ほかのシムを操作して別のことをしているのがいいだろう。時間がくると、再び送迎車で家の前まで送ってもらえる。

職業はさまざまなものがあり、一例を挙げると、エンターテイナー、選挙運動員、スリ、新兵などバラエティ豊かだ。職業によって支払われる給料は異なり、帰宅時に支払われる。



これは軍隊に入隊したバージョン



これは政治の世界で働いているバージョン

I 恋愛・結婚

友情度が高くなったもの同士には「キスをする」「背中をさする」「抱擁する」「いちゃつく」といった怪しげなコマンドが出現し始め、カップルらしいスキンシップができるようになる。さらに友情度が高まると、互いの友情度アイコンのところにハートマークが付いて、めでたくカップルとなる。

カップルになると、プロポーズをしたり、別の家に住んでいた相手ならば一緒に暮らそうと誘ったりすることができる。



ラブラブな相手にはさっそく指輪を取り出してプロポーズ。だが、相手の気分パラメータが悪いと断られることも

J キャリアを重ねる

仕事は、しばらくまじめに続けているとレベルアップして、職業名もだんだんと立派なものになっていくのだが、高いレベルになるにはそれなりの努力が必要になってくる。仕事のレベルアップは、職業によって、料理、カリスマ、体力、その他の各種スキルが必要となるため、それらを伸ばすための家具(チェスやトレーニングマシン、本棚など)を購入し、暇を見て鍛錬しなくてはならない。ただし、こういった鍛錬はシムの気分パラメータが良好なときにしか行えないので、就職していないキャラクターで家庭生活をフォローして、就職しているキャラクターを全面バックアップというのが一番いい方法だ。



鏡を見て話し方の練習中。ちょっと怪しいけど



ガーデナー：家の周りの植木は水をこまめにやらないと枯れてしまう。だが、働いている人間にはなかなか水やりをする時間がない。そこで、これも人を雇って解決。3日に一度ガーデナーがやってきて、植木の世話をしてくれる



修理：ときにはトイレやシャワー、流しが壊れて水浸しになってしまうことも。そんなときは修理工に連絡



警察：火急の事件は警察ヘコール。ただし、用もないのにかけると怒られてしまう